

シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号 (TWINS)	HE39012	
科目名	ケア・コロキウム	
科目名 (英語)	Care Colloquium	
授業形態	演習	
標準履修年次	3年次	
実施学期・曜時限等	秋学期B・集中	
使用教室	医学地区教室 (各グループの割り当てについては配布資料参照)	
単位数	1単位	
担当教員名	渋谷和子、川西邦夫 (医療科学類)、安梅勅江 (看護学類)、前野貴美、前野哲博、高屋敷明由美 (医学類)、小茂田昌代、鈴木立紀 (東京理科大、薬学部)	
備考	実務経験教員名 :	
使用言語 (☑してください)	☑日本語 ・ □英語 ・ □バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	なし	
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	1, コミュニケーション能力、6. 協働性、主体性、自律性
	医療	1, 医療人としての倫理性と人間性、5, チーム医療の理解と実践力
	国際	2, 人間の健康と疾病の理解
授業の到達目標 (学修成果)	<p>将来医療チームの一員として、各々の専門職種としての役割を果たして患者のケアを行えるようになるために、疾病や障害がある人とその家族に対する質の高いケアの在り方に関して専門領域の異なるメンバー間での討論を行い、各専門職種の理解を深め、チームワークおよび当事者の力を引き出すエンパワメントの意義を理解し、ケアの方針を立てる過程を体験する。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療に関係する職種の業務内容および視点を理解する。 2) 他職種と連携してチーム医療を行うことの重要性を理解し、必要な情報をチーム内で共有できる。 3) 場合に応じて医療チームのリーダーとなり、チーム内の建設的なディスカッションを促進できる。 4) 患者のケアについて、医学的な問題にとどまらず、全人的に対応する視点を身につける。 	
他の授業科目との関連	医療科学類の専門科目で学習したことすべて (多職種連携の中で、自分の専門分野における知識を、他の分野の人に説明できる)	

履修条件	3年生秋Aまでの必修科目の単位を全て取得していること
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学生参加者 <ul style="list-style-type: none"> －必修科目：医療科学類医療科学主専攻（3年） 看護学類（4年）、医学類（3年）、 東京理科大学薬学部（5年） －自由科目：医療科学類国際医療科学主専攻（3年） ・授業形式：小グループに分かれ、医療・医学・福祉等の事例に関するシナリオを検討する。テュートリアル形式 ・プログラム <ul style="list-style-type: none"> －日 時：12/2（月）～12/6（金）の1～6時限 －構 成：オリエンテーション、コアタイム、グループ学習、自己学習、全体討論 等 ・オリエンテーション：目的、スケジュール、方法、症例等の説明 ・全体討論：各シナリオ作成者の総括を含め、12/5（木）1～6時限に実施 ・コアタイム、グループワーク、自己学習等は、グループ毎にスケジュールが異なる。 ・教 員：コーディネータ、シナリオ作成者、チューターとして参加
キーワード	(1) ホリスティック、(2) エンパワメント、(3) チームワーク
授業計画	<p>12月2日：オリエンテーション、アイスブレイク、コアタイム グループ学習</p> <p>12月3日：演習、質問タイム、コアタイム、グループ学習</p> <p>12月4日：グループ学習、中間発表</p> <p>12月5日：全体発表</p> <p>12月6日：演習、まとめワーク、レポート作成</p>
1)実務経験のある教員が誰か 2)どのような実務経験を持つか 3)どのような授業を行うか	
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	テュートリアル形式
単位取得要件	4 / 5 以上の出席。決められた提出物の提出（内容と期日はオリエンテーション時に周知）。レポートとチューター評価で 60%以上。
成績評価方法	個人レポート（50%） チューターによる評価（50%）：コアタイムの態度（積極性・協調性など）
教材・参考文献・配付資料等	配布資料
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	一人一人がチームの一員としての役割を果たし、積極的に討論に参加するようにしてください。